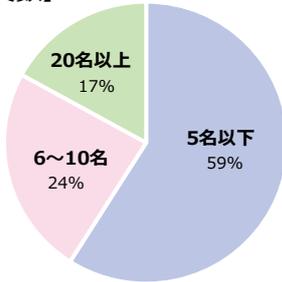


# 新型コロナウイルスに係る企業等への影響調査 (R03.8月)

□調査期間：令和3年7月14日～8月31日  
 □調査方法：郡山商工会議所 会員事業所  
 □回答社数：325社

## ■回答社属性

【従業員数】



【業種】

製造業	10%
建設業	7%
卸売業	8%
小売業	18%
飲食業	17%
サービス業	40%
生活関連サービス業	13%
観光関連サービス業	9%
IT関連サービス業	5%
その他サービス業	13%

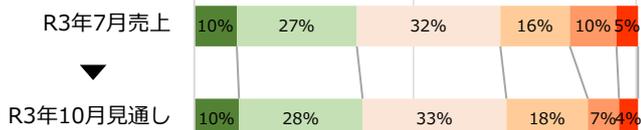


## ■コロナ禍以前との売上比較・見通し 令和元年同月との売上比較 (10月は見通し)

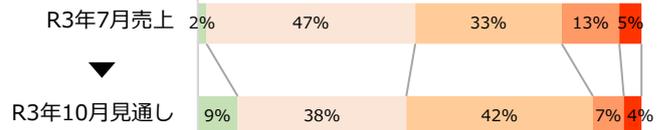
※上段：令和3年7月の売上／下段：令和3年10月の見通し



【全業種】 現状厳しく、10月も回復見通し立たずが多数



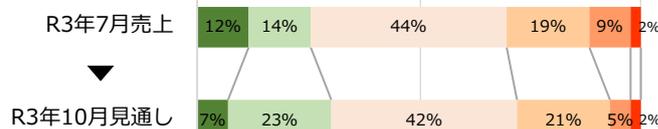
【飲食業】 98%が減少、10月も厳しい見通し



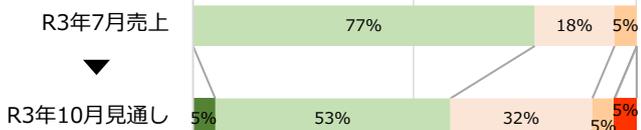
【製造業】 7月・10月見通しとも約7割がコロナ禍前以上



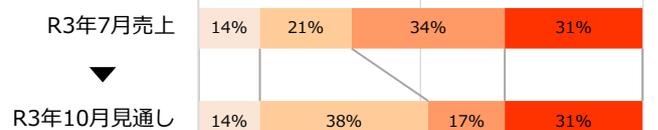
【生活関連サービス業】 74%が減少、10月見通しへの期待も



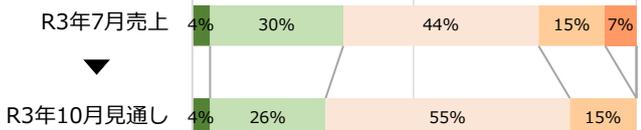
【建設業】 7月はコロナ禍前以上約7割、10月見通しも5割以上



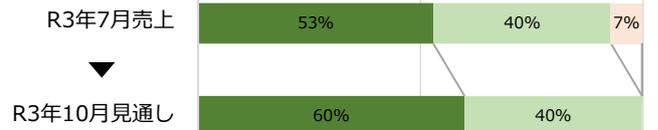
【観光関連サービス業】 全社が減少、10月でも86%が5割以下



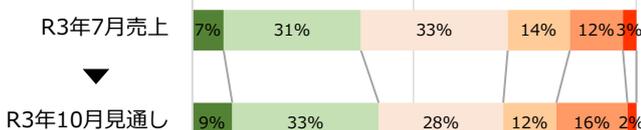
【卸売業】 7月は約6割が減少、先行きにも不安感



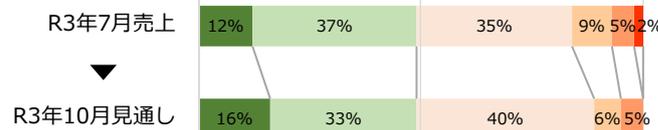
【IT関連サービス業】 コロナ禍によりデジタル化需要が増加



【小売業】 約6割が減少、10月には売上回復に期待も



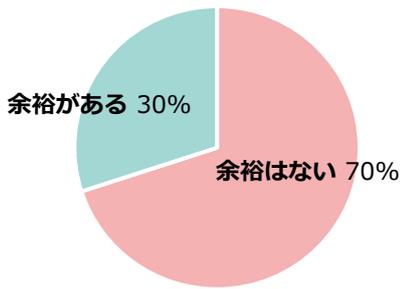
【その他サービス業】 コロナ禍前以上と減少が約半数



## ■資金繰りについて

製造業・IT関連サービス業を除く全ての業種で半数以上が資金繰りに余裕なし

【全業種】



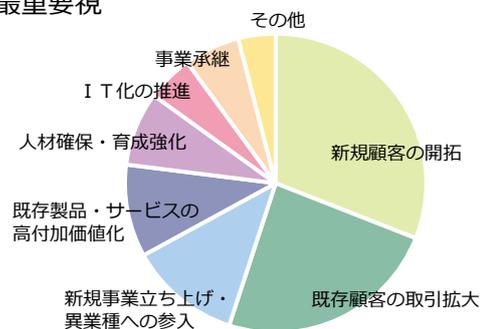
【業種別】



## ■アフターコロナを見据え最も重視すること

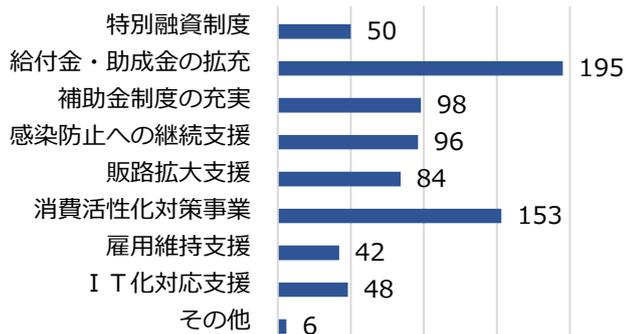
「新規顧客開拓」「既存顧客の取引拡大」による売上の確保を最重要視

新規顧客の開拓	31%
既存顧客の取引拡大	24%
新規事業立ち上げ・異業種への参入	12%
既存製品・サービスの高付加価値化	10%
人材確保・育成強化	8%
IT化の推進	5%
事業承継	6%
その他	4%



## ■今後期待する支援施策

給付金・助成金等による支援策と、コロナ禍収束後の消費活性化による景気の回復が求められる



## ■施策情報の主な入手先

郡山商工会議所ではHPに各機関の支援施策情報をまとめた一覧を掲載、随時更新を行っている



## ■行政への要望・意見（抜粋）

- ・早期ワクチン接種の完了による経済活動の活性化を強く希望する。
- ・出来るだけの早期収束のため、感染拡大予防の規制強化をお願いしたい。
- ・行政の支援施策の情報を分かりやすく伝えて欲しい。
- ・補助金や支援金の申請書類をもっとシンプルにして欲しい。
- ・感染拡大予防のための個室化や排気設備の設置など、設備投資に対する補助を希望。
- ・飲食業以外の業種へも何らかの支援制度を考慮していただきたい。
- ・消費を支えるための特別低額給付の再支給を願います。
- ・コロナの状況が落ち着いたら消費活性化の事業を大々的に行ってほしい。